

幼児の保健に就て

神戸市立楠幼稚園

山崎こさの

無敵皇軍一度起てば四百餘州を席卷して武威中外に輝き渡る其忠勇義烈唯々感謝感激の外はありません。内に銃後の護りとして任を第二の國民教育に當る私共其職責の重大なることを自覺し滅私奉公其務に邁進せねば相濟まぬと痛感いたして居る次第であります。

此非常時局の唯中に於て去る十月五日の新聞紙によれば教育審議會委員會學制改革案中に幼稚園要項四項目を擧げられ保育國策の基礎的事項を明示せられたのであります。該案中には從來幾十度建議に建議を重ね而も顧られざりし各事項を網羅し盡して餘りないのであります。久しく待ちにし保育時代今到るの感を深くして誠に感激に堪えないのであります。定めし全國の皆様にかかれましても御同感であらせられた御事と御同慶に存じ上げます。

叔右幼稚園要項の第二項に

「幼児の保育については特に其保健竝に躰を重視して

これが刷新を計るべし」
 示されてあります。

幼稚園に於ける健康問題は實に其使命の大半を占むることつてもよい程重大でありまして健康こそは旺盛なる生命力の礎石であります。人間基礎の教育である幼児教育に先づ保健を重視されました事は當然の事と存じます。今幼児の保健問題に就て少しく申し述べて見たいと存じます。

一、身體検査

幼児の身體を健全に發育せしむるためには幼児一人一人の發育狀況をよく知ることが第一であります。其爲に幼稚園に於ては少くとも左記事項の實施が必要と存じます。

- 1、入園児に對しては園醫の周密なる健康検査をなすこと
- 2、一保育期に一回幼児に於て園醫の健康検査をなすこと
- 3、一保育期に一回幼児に對し眼科醫の検査をなすこと
- 4、一年一回幼児に對し歯科醫の検査をなすこと
- 5、幼児の身體に異狀を認めたる時は直に臨機醫師の診断をうけしむること。
- 6、身長・體重・胸圍・坐高は毎月之を測定すること。

以上1、より5、迄は夫々専門醫の診断により指導を願ひ保健衛生上の施設を講ずるのでありますが第6、の身長・體重・胸圍・坐高の測定は多くは保母自らこれに當らねばならぬのであります。以下乏しき經驗の一端を列舉いたします。

幼児が毎月伸びては太りゆく有様を測定することは無上の樂しさを感じるものであります。又發育の悪いものや身體の劣つて居る者、身體に故障あるもの等を發見し其原因が奈邊にあるかを探索し其缺陷を少しでも補ふやう種々苦心努力を拂ふわけであります。かくの如くして個人的に非常によき効果を擧げし實例は枚舉に違なき次第であります。がこゝには割愛いたし測定に關する注意事項を掲げます。

測定についての注意事項

- 1、毎月期日を略々一定すること
- 2、測定者を一定すること
- 3、時間を一定すること
- 4、機械を精査すること
- 5、室内の溫度を一定すること
- 6、測定前幼児に排泄をなさしむること
- 7、下着靴下等を除かしむること
- 8、病後の幼児に就ては特別の注意を拂ふこと

次に神戸市に於て過去十四年間に至り幼児四三〇七名に

ついで毎月測定せる身長・胸圍・體重の結果を整理し最優最劣を除き普通の標準(標準評點 100)を認めたるものを掲

幼児身長 胸圍 體重正常標準

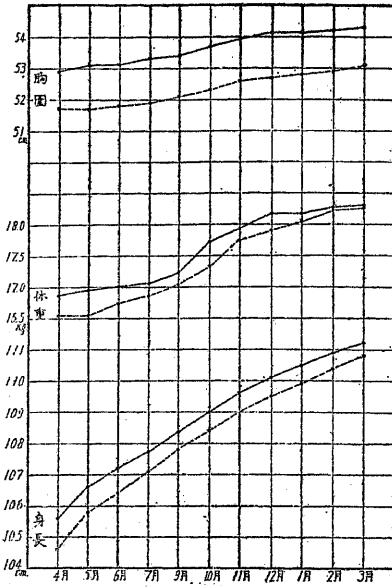
胸圍		體重		身長		體格	
女	男	女	男	女	男	性	
至 五二・三 糎	自 四八・四 糎	至 一六・五八 糎	自 一四・〇三 糎	至 一〇三・二 糎	自 九六・九 糎	五	年
至 五三・七 糎	自 五〇・一 糎	自 一四・〇三 糎	至 一七・〇九 糎	自 一〇四・八 糎	自 九八・三 糎	六	年
至 五三・七 糎	自 五〇・一 糎	至 一八・一〇 糎	自 一五・一五 糎	自 一〇二・〇 糎	自 一〇二・九 糎	六	年
至 五三・六 糎	自 四九・五 糎	至 一八・一〇 糎	自 一五・七〇 糎	自 一〇二・〇 糎	自 一〇二・九 糎	六	年

ぐれば左の通りであります。

一ヶ年間に於ける身長・體重・胸圍の發達

昭和十年四月より同十一年三月に到る一ヶ年間私の處で全六年男女兒について測定せる各月の發達平均値をグラフに示せば左表の通りでありまして大體毎月如何に發達するか一目瞭然であるを存じます。

六年男女兒一ヶ年の身長・體重・胸圍の發達 (—) 男 (---) 女

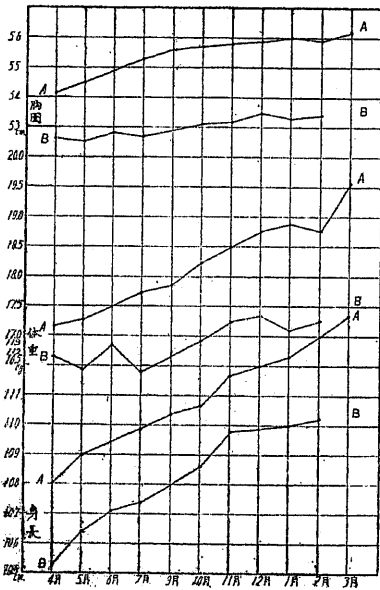


次表は一虚弱幼兒B(六年男)と一發育良好なる幼兒(A)(六年男)との一ヶ年間に於ける發達比較圖であります。

(B) 幼兒はビルケー氏の反應(卅)を示し常に三十七度以

上の體温を有し結核性體質であります。この幼兒に對しては入園後ヤトコニンの注射・肝油服用等の處置をせらしめたのであります。

(A) 幼兒は身體強健發育良好元氣旺盛なる幼兒であります。



以上は發達の最優最劣兩極端の一例を示したにすぎませんがこれによりましても個人の發達の如何に差異あるかを知り得るのであります。幼兒一人一人を凝視する必要があるが痛感される所以であります。

二、幼兒傳染病

幼稚園に於ける幼兒の集團生活に於て最も困難なる問

題は幼児傳染病の感染する機會が多い事であります。

幼児の傳染病の種類は百日咳・麻疹・水痘・耳下腺炎・チフテリア・猩紅熱・結膜炎・トラホーム・傳染性皮膚病等を數へます。最初幼児の入園に際しては體格検査を最も嚴密に行ひ傳染病に罹れる幼児は入園不許可と致しますが入園後家庭に於て罹病した幼児の通園するところが起り得るのであります。幼稚園に於ては保母がこれ等傳染病に關する知識を充分に辨へ早期發見に努め疑はしきものは直ちに園醫の診察を乞ひ傳染病の場合には全治迄必ず缺席せしめ園内は充分消毒なし傳染の機會を少くする様務めねばなりません。尙罹病せし幼児は全快後三雖も抵抗力弱り居るため特別の注意を拂ふ事が最も必要であります。

家庭に對しては入園の初に當り傳染病感染の危險なることを充分會得せしめ罹病の際は必ず登園せしめざる様注意する事が肝要であります。

當園に於ては其豫防方法として左の事項を實行いたして居ります。

1、含嗽

毎朝幼児登園後直ちに食鹽水にて含嗽せしむ又特別注意を要する幼児にありては登園後臨機之を行ふ。

2、百日咳豫防注射

保護者の了解を得て百日咳の豫防注射をなす(一人一回)

3、軽度の傳染性眼疾

軽度の眼疾は幼稚園看護婦之を洗眼す。

三、虛弱兒の特別診斷

主として

身體發育不良の幼児

よく風邪をひき病氣にかゝり易い幼児

身體検査の際體重著しく減少せる幼児

毎日體溫三十七度四五分を示す幼児(全幼兒に體溫測定の必要あり)

食事量少く不機嫌にてむづかる幼児

等は身體の何處かに異狀缺陷を有する證據であります。かゝる場合には保護者同伴専門醫の精密なる診斷を願ひ場合によりてはマスター氏反應血液沈降速度レントゲン寫眞像診察等により病源を調べ、薬餌、注射、等特別の處置をなし病氣を未然に防ぐことは保健上最も必要であります。

四、幼兒の榮養

發育期にある幼兒を健全に發育させる爲にも又虛弱兒の體質を改造する爲にも身體の基礎を作る榮養即ち身體發育に必要な各種の榮養素を適當に攝らす事が最も根本問題でありまして保健の第一義と存じます。然るに幼兒にはなかく偏食が多く特に虛弱兒にはつき

もの、様に偏食が伴ふのであります。翻つて家庭に於ける母親の之に對する知識關心は甚だ貧弱でありまして榮養に關する知識の普及徹底により家庭榮養の改善を圖ることは實に急務だま存じます。

右の理由により幼稚園に於ては給食を實施し幼児に榮養食を攝取さすと同時に母親の榮養教育をなすことが最も効果的であります。然し設備其他の關係上これを實行し得ざる場合に於ては獻立表配布、辨當指導、講習會開催等により最善の努力を拂ふべき必要があるま信じます。

當園に於ては昭和九年二月より全幼児に對し給食を實施し來りましたが以下偏食矯正に就ての經驗を掲げるま致します。

偏食矯正の仕方ま其注意

家庭に於ては一大難事の偏食矯正も幼稚園給食まして集團的に取扱ふ場合には比較的容易に効果を擧げ得るまは給食實施いたしましてより毎年經驗致して居る事實であります。大體次のやうな心構ま注意が必要でございます。

1、調理に意を用ふるま

幼児の嫌ひな食品でも形を變へ又極く小さく切り小量を用ふる時は知らずく食べ得らるまものでありま

す。又同じ材料を用ひても全く調理法を變へ變化に富ませるまは大切であります。

2、空腹を利用するま

戶外で新鮮な空氣、清らかな日光に當り充分運動をさせて空腹を覺えし時は少し位嫌ひなものでおいしく頂けるまであります。

3、楽しく食膳につかまむるま

食事は幼児にまつて最も楽しい嬉しい時である食卓には美しい花が飾られいかにも和やかな氣持で何もかも嬉しいまいつた様な時は知らずく嫌ひなもの口に入るまであります。

4、話を利用して食慾を進めるま

食べにくいま思はれる食品が出た場合「何まきれいな色でせう」ま「これを食べて大變丈夫になつた兄ちやんがあつた」ま「巧みにお話にまり入れて美味しいま勧める事である。

5、決して強制せず氣長く直して行く

残さぬ様に食べねばならぬま強制する時神經質な幼児等は口の中に隠して含嗽ま共に吐き出したり机の中に入れて了つて知らぬ顔をしたり陰陽をつくる原因まもなるまがありますから決してあせらずに無理のない様に導く事が最も大切である。

6、必要なることをよく呑みこみます

身體検査の後なご何でも食べる事の必要をよく云ひきかせるご體重が重くなりたいた爲に子供自身の方から進んで嫌ひな食物も我慢して食べやうご努力する様になるものであります。

7、慰め勵ましてやること

食事中保姆はなるべく偏食兒の傍で食事をする嫌ひなものを努力して食べやうごしてゐる幼兒に同情をもつていたはり勵ましてやる。例へ一口でも食べられた時には心から幼兒と一緒に喜んでやる事は偏食の矯正される基となるものであります。

8、家庭との連絡

幼稚園のみにての偏食矯正では一日一回の食事にすぎず眞に幼兒の健康増進のためには家庭の食事に迄及ばさなくてはならぬ幼稚園と家庭との連絡により母親が先に立つてこそ初めて其實を擧げ得るものである。しかしこの事柄は至難事であるごを痛感して居る次第であります。

尙幼兒の保健に關する重要な事項として間食問題・睡眠問題・衛生習慣問題・屋外保育・郊外保育等を數へるのであります何れも幼兒保健の根本的問題に屬するのであります等々は又の機會に申し上げる事にいたします存じます

す。

曩に荒木文相は「人生は嫩葉から」「良民は保育から」ごの聖句を吾等に贈りたまひ日本人を作る最初の教育なる幼兒教育の重要性を力強く表明され保育者を御獎勵下さいました。吾等之に答ふるの道は只管粉骨碎心保育報國の實を擧ぐる事より外はないご深く信ずるものであります。

健康

海への幼稚園

高濱キミノ

本園の主旨

煙ミ塵ミ混雜した環境の内に、餘りにも人爲的に生い育つた都會の子供は虚弱で恰例に過ぎる虞れがある。かやうな幼兒を青空の下で充分自然に親ませ、空氣も清く日光量も豊かな南海沿線、助松で保育し、童心の伸びるが儘に身も心も清々しく、すく／＼ご育つ中に、良い習慣を養ひ虚弱な子供は健康に、健康な子供はより一層健康に育て上げるのが當園の生旨である。

幸ひ當園は、健康の養素である清澄な空氣を滿喫しながら日光を存分に受ける事が出来る。しかし幼兒をより一層健康に育てあげるためには、榮養食の攝取が必要である。